

○意見交換会及びアンケート調査での主な意見

資料1

障害種別	団体名	困りごと	要望
視覚障害者	呉市視覚障害者協会	受付に代筆・代読できる人がいない。※ヘルパー不在時に困る。	受付にいる人は、代筆・代読による対応をしてほしい。
		文書による通知の内容が分からない。※ヘルパー不在時に困る。	文書による通知には、点字を入れてほしい。
		セルフレジが増え、自分ができることが減った。※全てヘルパー任せになった。	セルフレジでも、自分でできるように、店員の支援や音声ガイドを付けてほしい。
		利用したいときに、ヘルパーが使えない。	ヘルパーの人数を増やしてほしい。
		一人で避難ができないので、家族が留守のときが心配。	災害時の避難支援をしてほしい。
		避難先で、どう動けば良いか分からず、周囲の迷惑を掛ける。(避難したくてもできない)	安心して避難所で過ごせるようにしてほしい。
聴覚障害者	呉ろうあ協会	緊急時等、放送では必要な情報が入らず困る。(例えば給水場所のお知らせ)	緊急時等の必要な情報が、(放送以外でも)入手できるようにしてほしい。
		電車やバス停で待っているとき、遅延の放送や周囲の人が遅延について話をしているにもかかわらず分からない。聞いて、ゆっくり話してもらっても、口元が小さいときは読み取れない。	
		自宅にいるとき、災害が起きても気付きにくい。	
		情報が「聞こえる」ことが前提なので、あらゆる場面で情報の入手が難しいと感じる。	障害に配慮した情報発信をしてもらいたい。
		夜中に防災メールが届いても、寝入っていたらバイブレーションに気付かないことがある。	何か知らせる手段、屋内信号装置のような物であればよいと思う。
		通訳者が少なく、自分の都合に合わせた利用が難しい。	必要時に、通訳者を利用できるよう増やしてほしい。
	筆談するのは、相手が手話を知らない場合だけ。仕方なく筆談している。	文字や筆談で通じると思っている人が多い。日本語と手話の違いを知ってほしい。	
	このようなアンケートも手話で行ってほしい。(文字だと意味が分からない)	自分の知る手話で言いたいことが伝えられるようにしてほしい。	
	筆談で済ませばいいことではない。自分の言いたいことが筆談では伝わらない。	安心して避難所で過ごせるようにしてほしい。	
	避難しても、避難所でのコミュニケーションが困難。自宅とか、車の中にいた方が良く思ってしまう。		
	NPO法人広島県難聴者・中途失聴者支援協会呉支部	初めての人に対してコミュニケーションを取りにくい。筆談が必要とすぐに分かってくれない人、書かない人がいる。	相手のことを知ってコミュニケーションを取ろうとする考えを持ってほしい。
		宅配をインターネットやメールで配送を依頼するが、訪問時にドアホンカメラに気付かず受け取りできず。(届くと分かっている指定日時に、玄関に「聴覚障害のためチャイムが聞こえません」と張り紙をした(防犯上心配))	メールで対応可能にしてほしい。
問合せ先が電話しかないときは、聞こえる人に頼むしかなく大変。		メール、FAXも可としてほしいと思います。	
在宅確認の電話に出ることができず、修理や配達をしていただけなかったことがある。		在宅確認方法をショートメールやFAXにしてほしい。	
災害時に放送が聞こえない。(給水場所・場所が分からない。)		障害に配慮した情報発信をしてもらいたい。	
聴覚障害者支援団体		呉市要約筆記サークル「灯だい」	いろいろな行事に要約筆記を必ず付ける。そのことが市民の認識につながる。活動していることが市民に分かるように。困っている人が声をあげやすいように。
呉手話サークル「しお」	「手話が言語であることを知っている人が少ないので、聞こえなければ書けば良いと思っいる人が多いです。	聞こえない人には、文字や筆談で通じると思っている人が多く、手話言語の理解を深めてほしい。	
呉市登録通訳者会議	みんなで手話の背景・歴史を知る必要がある。	ろうの子どもたちが何の障壁もなく手話を習得することが大事。手話で手話を学べる環境が必須!	
	ルビを振っただけでは、分からないろう者、聴覚障害者がいることが知られていない。	ことばの教室に通う難聴児がいること、呉南特別支援学校聴覚部門があること、呉ろうあ協会や難聴者協会呉支部、要約筆記サークル、手話サークル、各種講習会があることなど広く知らせてほしい。	
	会見の場などに手話通訳がいるのに、テレビ画面には映っていないのはおかしい。	障害に配慮した情報発信をしてもらいたい。	
知的障害者	呉市手をつなぐ育成会	名前を呼ばれても(自分の名前だと分かっている)どう反応していいかわからない。	例えば、「〇〇さん手をあげて」とか分かりやすい。
		話せないので気持ちを伝えられない。分からないときに聞けない。	相手のことを知ってコミュニケーションを取ろうとする考えを持ってほしい。
		困っていることを自分から伝えることができない。	
		市役所のフロアごとに案内の方がいたら助かります。	各フロアに案内係を配置してほしい。
精神障害者	地域活動支援センターふたば	スマホを持っていますが、詳しくは呉市のホームページへアクセスしてくださいと言われても、どこへジャンプしていいかわからない。	分かりやすい案内に変えてほしい。
		日常的にインターネットを使って情報収集をしています。障害福祉サービスも見えますが、欲しい情報にたどり着くのが難しいときがある。	絵・図・分かりやすい言葉を使って発信してほしい。シンプルに分かりやすくアクセスすることができたら良いなと思います。